



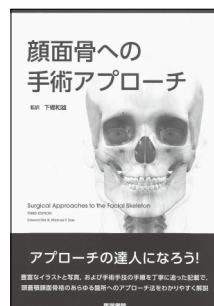
書
評

顔面骨への手術アプローチ

原著：Edward Ellis III, Michael F. Zide
監訳：下郷和雄

A4・頁 272 2019 年 10 月 定価：本体 20,000 円＋税
[ISBN978-4-260-03951-2] 医学書院 刊

<評者> 鄭 漢忠 (北大大学院教授・口腔顎顔面外科学)



手術で最も大事なことは、どのようにして目的とする場所に到達するかということである。そのためには切開線の設定が大切だということを先輩たちから幾度も教わった。確かにそこに到達する道はいろいろあるかもしれないが、解剖をよく考えるとおのずと決まってくるものだ。この『顔面骨への手術アプローチ』を読んだとき、先輩たちに教わった数々のことが思い出された。臨床は経験だという。いや、それだけではない。この本を読んだとき、いかに多くの先輩たちから最もトラブルの少ない、安全なルートを教わっていたのかということであらためて知らされた。

本書は少ない労力で安全確実に目的とする場所に到達する道を指南する書である。正確で豊富な図や写真はさすがに臨床家である Ellis 先生ならではのわかりやすさである。随所にちりばめられているキャダバーを用いた重要な解剖単位の剖出写真は非常に参考になるものと思われる。また、何より訳者の正確な日本語

は素晴らしく、とても読みやすい内容に仕上がっている。

本書は研修医のみならず、専門医をめざす若手医師・口腔外科医にふさわしいと同時に中堅の医師・口腔外科医にとっても有用な書物であることは間違いなく、顔面骨の手術を行う全ての医師・口腔外科医にとって必読の書といっても過言ではない。自分自身の不得手な領域では目からうろこの世界が広がっており、自分自身が得手とする領域においても新たな発見がそこにある。

近年、手術書を穴がうがつほど読まずに手術に臨む若手医師・口腔外科医も少なくないと聞く。手術書をいつも手元において、繰り返し読むことにより手術手技はようやく上達するものである。若手もベテランもぜひこの書を手元に置いていただき、より良い手術をめざしていただきたい。